

## クリニカルパス委員会

整形外科 主任部長 西井幸信

### 委員会概要

クリニカルパス（以下：パス）委員会では毎月1回、各部署のパス委員が参加して委員会を開催しており、さらにワーキンググループ活動として作成パス検討部門、バリエーション分析部門、教育・啓蒙部門でのミーティングを行っています。

委員会とは別に原則毎月第1土曜日にパス改定会を開催しており、改定するパスの専門病棟看護師・医師・コメディカルらが集まりパスの改定を進めています。新規導入や改定を進め、医療の標準化・質の向上を目指します。

2024年は4月から副委員長の一人である消化器外科の坪井香保里生先生に変わり、同じく消化器外科の間島礼聡先生を新たに副委員長として迎えました。間島先生には、教育・啓蒙ワーキンググループのグループ長として、パス教育の推進にご尽力いただきました。

### 2024年の活動

2024年は「乳腺外科」の新設に向け、年明けから4月まで乳腺外科パス5種の新規作成に集中的に取り組みました。5月以降は通常の活動に戻りましたが、4月までの間に先送りになっていた他科パスの改定が滞っていたため、遅れを取り戻すために、申請から稼働までのフローを一時的に変更しながら対応しました。10月には、新型コロナウイルス（以下：コロナ）感染防止のため複数人での参加を見送ってきたパス大会へ5年ぶりに参加しました。パス委員長の西井幸信先生をはじめとする全5名で参加し、「コロナ禍におけるパス活動と今後の課題」という演題について濱口師長が口演を行いました。また同月末には、済生会熊本病院を訪問し、『ePath』システム（※1）について視察をしてきました。当院では、委員会設立時より紙パス運用ですが、電子パスへ向け一歩踏み出す年となりました。

2020年から2023年の間はコロナ感染拡大防止のために休会した月がありましたが、2024年は1度も休会することなく活動を終えられ、コロナ以前の活動内容を取り戻しつつあります。

※1：異なる医療機関でのデータを統合・解析するため、パスを病院間で共通化するシステム

### パスの作成・改定状況

今年は新規のパスを7種導入し、10種の改定を終えました。また、近年使用されていなかったこと、今後使用が見込まれないことを理由に8種を廃止としました。（下記参照）

2024年末の時点で86疾患99種類のパスが稼働しています。

#### 【新規作成】

|        |                        |              |
|--------|------------------------|--------------|
| 乳腺外科   | 乳房温存＋センチネルリンパ節生検       | 2024. 4. 8   |
| 〃      | 乳房温存＋腋窩郭清              | 2024. 4. 8   |
| 〃      | 乳房切除＋センチネルリンパ節生検       | 2024. 4. 8   |
| 〃      | 乳房切除＋腋窩郭清              | 2024. 4. 8   |
| 〃      | 乳房切除（TE挿入）＋センチネルリンパ節生検 | 2024. 4. 25  |
| 画像診断部  | 心臓CT（入院用）              | 2024. 11. 5  |
| 循環器内科  | 経皮的大動脈弁植え込み術（TAVI）     | 2024. 12. 13 |
| 心臓血管外科 |                        |              |

【改定】

|       |                  |              |
|-------|------------------|--------------|
| 形成外科  | 蜂窩織炎             | 2024. 2. 27  |
| 形成外科  | 鼻骨骨折整復術          | 2024. 2. 27  |
| 脳神経外科 | 脳内出血 (ICH)       | 2024. 7. 25  |
| 〃     | V-P シヤント術        | 2024. 7. 25  |
| 〃     | 頭部打撲経過観察         | 2024. 7. 31  |
| 〃     | 頸動脈ステント留置術 (CAS) | 2024. 7. 31  |
| 形成外科  | 頬骨骨折整復術          | 2024. 8. 8   |
| 画像診断部 | 心臓 CT (外来用)      | 2024. 11. 5  |
| 消化器外科 | 虫垂切除術 (予定用)      | 2024. 12. 16 |
| 消化器外科 | 虫垂切除術 (緊急用)      | 2024. 12. 16 |

【廃止】

|       |                         |             |
|-------|-------------------------|-------------|
| 脳神経外科 | ラクナ梗塞                   | 2024. 3. 31 |
| 呼吸器内科 | 終夜睡眠ポリグラフィー検査           | 2024. 3. 31 |
| 脳神経内科 | パーキンソニズム検査              | 2024. 3. 31 |
| 泌尿器科  | 体外衝撃波結石粉碎術 (ESWL) (外来用) | 2024. 3. 31 |
| 〃     | 体外衝撃波結石粉碎術 (ESWL) (入院用) | 2024. 3. 31 |
| 透析外来  | CAPD                    | 2024. 3. 31 |
| 〃     | CAPD 腹膜炎                | 2024. 3. 31 |
| 全科共通  | 退院調整                    | 2024. 3. 31 |

使用率

年間平均使用率は 50.7%と昨年より 2.0%増加しました。(図 1)。

全体としては、委員会設立以降少しずつ使用率は増加しており(図 2)、今年は 50%台に到達し、目標年間使用率の 60%に近づいています。

パス使用が少ない診療科への新規作成の呼びかけや、使用率の低いパスや作成から時が経つパスの改定を試みるなど活動を続け、医療の標準化、質の向上に貢献することを目指します。

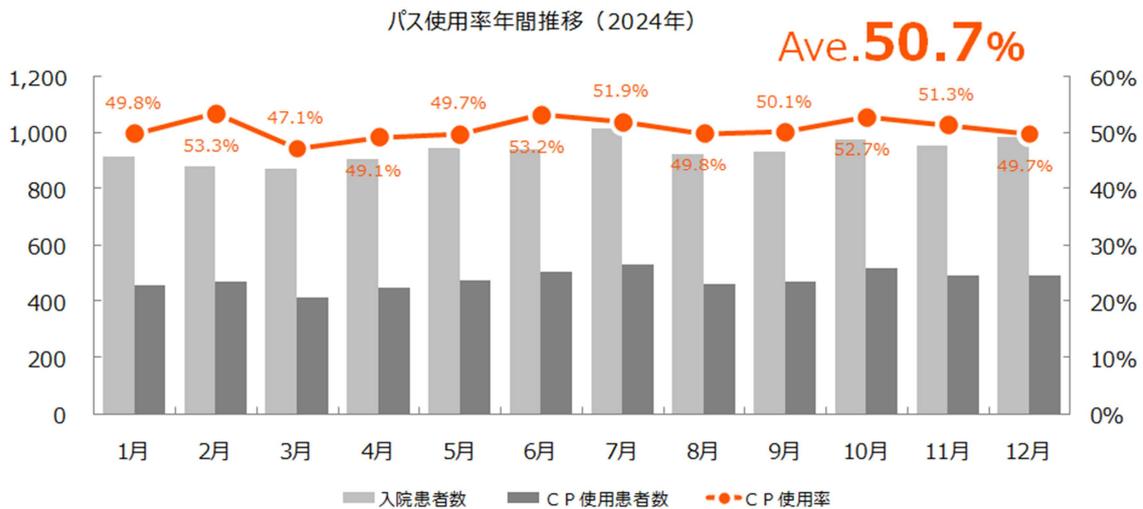


図 1 パス使用率年間推移 (2024 年)

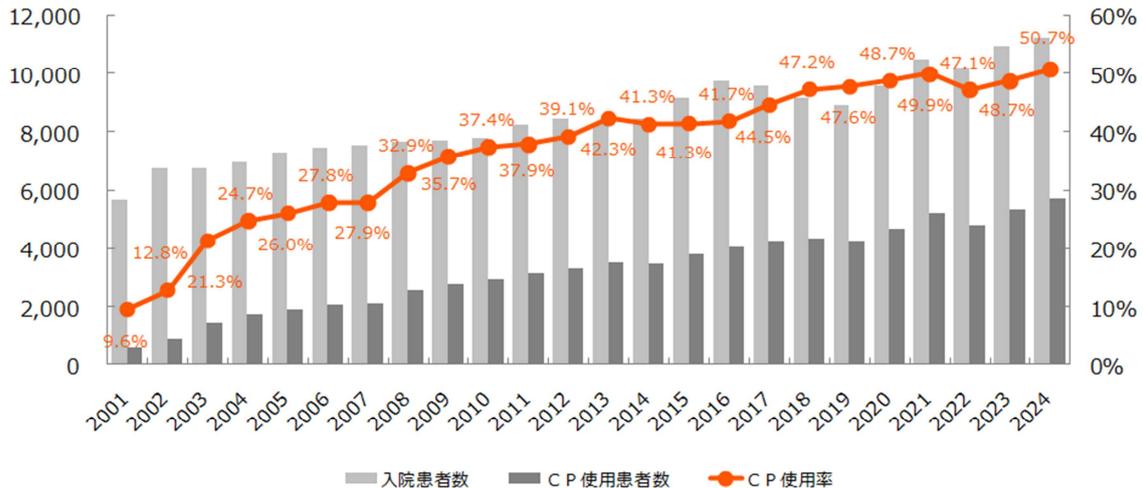


図2 委員会設立以降のパス使用率推移（2001～2024年）

### ワーキンググループ活動

パス委員会を下記の3つに分類し、個別に活動を行っています。

#### ①作成パス検討ワーキンググループ

病棟で作成したパスを他科の医師、専門病棟以外の看護師、多職種で再度確認することにより、医療の標準化、質の向上を目指します。

今年は15種のパスについて検討を行いました。このうち11種のパスについては2024年の内に新規稼働、もしくは改定稼働しており、残る4種についても年明けすぐに稼働する予定です。

#### ②バリエーション分析ワーキンググループ

改定を予定しているパスのバリエーション分析を行い、改定の検討材料として分析結果や修正の提案を行います。

今年は「前回の改定から3～5年以上経過するパス」を中心にバリエーション分析を行い、分析した10種のパス中4種のパスが改定へ繋がりました。（※改定とならなかった6種中1種は改定が必要か現在確認中、残る5種は軽微変更にとどまった）

またパス用語統一に向けた取り組みも行いました。現在の医療者用オーバービューには、同じ内容でも、違う用語で表現されている項目が散在しているため、メンバーで分担し、すべてのパスの用語を抽出しました。この結果をもとに来年は、どのような用語で統一できるのか検討します。

#### ③教育・啓蒙ワーキンググループ

新入職員パスオリエンテーション、病棟別パスレクチャーなどを開催し、職員の知識・理解を深めるための活動を行います。

2021年よりWebを利用した新入職員クリニカルパスオリエンテーションを行っています。昨年まで期間内の受講率は100%でしたが、今年は未受講者がおり、受講率は90%でした。未受講者には、同じ部署のパス委員が個別指導を行うことで対応しました。未受講者が出てしまった原因を明らかにすることはできませんでしたが、集合型のオリエンテーションでは把握が難しかった未受講者の存在を、Web講習だと容易に把握できるため、その後のフォローにつなげやすく、パスの基礎知識を漏れなく普及させる手段としてWeb講習は有用であることを再認識できました。

またこれまで病棟別に行っていたレクチャーを、「フォローアップ研修」と名を改め、委員会で設定した日程（全3回）に希望者が参加する形で行いました。内容は、パスの基本をはじめに説明し、その後はクイズを出題し参加者に答えてもらう形式で行いまし

た。この形式だと出題者と回答者でコミュニケーションを取り合える点は良かったのですが、参加者全体の理解度が把握できなかったため、来年は参加者全員に確認テストを解いてもらうことに決めました。

### 地域連携パス

脳卒中地域連携パスと大腿骨頸部骨折地域連携パスの2種類ありますが、これらはパス委員会ではなく、各科（脳神経外科、整形外科、近森リハビリテーション病院、近森オルソリハビリテーション病院）にて管理しております。

### 学術発表・講演会等

| 演題                 | 発表者<br>共同研究者       | 学会名                 | 開催                  |
|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| コロナ禍におけるパス活動と今後の課題 | ○濱口富代<br>尾知美穂、吉原悠衣 | 第24回日本クリニカルパス学会学術集会 | 10月4日～<br>5日<br>愛媛県 |

### アンケート調査への対応

- ・クリニカルパスの普及に関する調査  
依頼元：特定非営利活動法人 日本医療マネジメント学会（2024.5.2 提出）
- ・クリニカルパスの実態に関する調査  
依頼元：一般社団法人 日本クリニカルパス学会（2024.7.2 提出）